



平成 20 年 11 月 14 日

各 位

会社名 ダイナパック株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯田 真之
コード番号 3947 (東証第二部・名証第二部)
問合せ先 執行役員経理部長 山田 良文
電話番号 (052) 971-2651

平成 20 年 12 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 2 月 22 日の期末決算発表時に公表しました平成 20 年 12 月期 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日) の通期連結業績予想および通期個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期通期連結業績予想の修正 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)
連結予想数値の修正

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	54,500	1,800	1,900	850	17 円 08 銭
今回修正予想 (B)	53,500	1,050	1,150	△200	△4 円 02 銭
増減額 (B-A)	△1,000	△750	△750	△1,050	—
増減率 (%)	△1.8	△41.7	△39.5	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 12 月期)	51,397	908	1,113	649	13 円 05 銭

2. 平成 20 年 12 月期通期個別業績予想の修正 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)
個別予想数値の修正

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	37,000	700	900	500	10 円 05 銭
今回修正予想 (B)	37,000	700	900	△1,100	△22 円 14 銭
増減額 (B-A)	—	—	—	△1,600	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 12 月期)	36,103	563	844	546	10 円 98 銭

3. 修正の理由

当第3四半期連結会計期間につきましては、前年からの製品価格修正活動の成果と継続的な改善活動である“IC活動”の展開によって、需要低迷する中で経常利益までは増収増益となりました。

しかし、米国金融不安から景気は後退局面入りし、包装製品の需要に一層の低迷が見込まれる中で、10月から主原材料である段ボール原紙が再び値上げとなりました。また、予想を上回る諸資材の高騰もあり、連結業績予想数値に対して減額修正いたします。

なお、当期純損失の計上につきましては、投資有価証券評価損等を見込んだことによるものであります。ただし、投資有価証券の評価は11月13日の終値を使用して予想しており、期末における数値は流動的であります。

以 上